



風は湊から

文責 校長 永田 泰志

新年あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお祈りします。



1月末なのに、遅ればせながら新年のご挨拶をさせていただきます。旧年中は本校の教育活動に対し、ご理解とご支援を賜りまして誠にありがとうございます。本年も生徒たちが生き生きとした学校生活を送れるよう教育に対しての熱い思いを抱きつつ、全職員一丸となって教育活動に取り組んでまいります。何卒、よろしくお祈りいたします。

忘れがちな『久しぶり』

昨年、久しぶりにベ이스ターズが日本一になりました(26年ぶり)。また、久しぶりに佐賀県で国スポ・全障スポが開催されました(若楠国体以来48年ぶり)。私自身も昨年からは新年にかけて、多くの「久しぶり」という言葉を使いました。そこで、1月8日の始業式では、「久しぶり」という言葉について話をしました。



- 久しぶりにバスケの審判をしました(1か月ぶり)。
- 久しぶりにウォーキングをしました(4か月ぶり)。
- 久しぶりに母親と太良に行きました(2年ぶり)。
- 久しぶりに息子が戻ってきました(7年ぶり)。
- 久しぶりに飛行機に乗りました(11年ぶり)。
- 久しぶりに教え子と会いました(21年ぶり)。
- 久しぶりに後輩から電話がありました(34年ぶり)。
- 久しぶりに同期生と会いました(38年ぶり)。

「久しぶり」という言葉を辞書で引くと、「前にそのことを経験してから、再び同じことになるまでに長い日数があつたこと」と書いてあります。この意味から、私の「久しぶり」も、1か月ぶりから38年ぶりまであつたように、「久しぶり」という時間の範囲は様々に使って良いようです。

私が、この年末年始にかけてたくさんの「久しぶり」



感謝・自立・挑戦

の出来事で気づいたことがあります。それは、「久しぶり」という言葉は、『忘れかけている大切なものを思い出す言葉』であつたということです。



『一年の計は元旦にあり』といわれる2025年の始まりの始業式。3年生は将来の進路に向けて前へ前へ進んでいる時。また1、2年生は次の学年に向けて準備を進めている時ですが、ちょっと振り返ってみることも大事なことだと思い、生徒たちには「久しぶり」について話をしました。みなさんにとって忘れがちな「久しぶり」。意外と大切なものかもしれませんよ。

いよいよ受験シーズン到来！

新年が明けて間もなく、3年生は、いよいよ4月1日からの新たな進路を決めるための高校受験が始まりました。すでに長崎県と大分県の私立高校、また佐賀県の私立高校の前期入試は終了しました。



そのような中、1月9日には PTA 母親部の方々より「3年生を励ます会」を実施していただきました。保護者の皆様から受験に「勝つ」ようにと、『カツサンド』が手渡されました。また、1、2年生からも今まで湊中学校をリードしてくれた3年生へのお礼と応援のメッセージが送られました。日々の勉強でやや疲れ気味の3年生の表情も、和やかになった時間でした。

頑張っています、湊中生

- 唐津地区新春読書感想文コンクール
・入選 3年 森 菜々美 さん
- 佐賀県中学校体育連盟模範競技者賞
・3年 高崎 重虎 さん
- 唐津地区中学校体育連盟表彰
・3年 江口 貫太 さん

今後の行事予定

1月

27日(月) 1、2年実力テスト(～28日)

生活アンケート

28日(火) みなとタイム数学

30日(木) 佐賀県私立高校後期入試

フッ素洗口

特別(縦割り)掃除



2月

3日(月) 生徒会各部会

4日(火) 佐賀県立高校特別選抜入試

5日(水) 全校朝会(生徒会)

市内一斉部活動停止日

6日(木) フッ素洗口

9日(日) 学年末テスト前部活動停止

(～17日)

11日(火) 祝 建国記念の日

12日(水) 第2回学校評議員会

第1回いじめ防止対策委員会

13日(木) フッ素洗口

14日(金) 1、2年生学年末テスト(～18日)

3年生実力テスト(～17日)

16日(日) 県内一斉部活動休養日

19日(水) 全校朝会

20日(木) フッ素洗口

特別(縦割り)掃除

21日(金) 生活アンケート

23日(日) 祝 天皇誕生日

24日(月) 振替休日

25日(火) 第2回 PTA 全体役員会

27日(木) 生徒会各部会

※今月も学年ごとの行事を予定しています。

各学級から配布される学級通信等もご確認ください。



「子育て」って難しいですね Ver2

昨年度の学校だより【風は湊から】第10号でも「子育てって難しいですよ」と述べさせていただきました。「自分の子どもだからこそ、言葉や態度で示

さなければ親の思いは伝わらない。」と書いていらっしゃる保護者の方は多いと思います。しかし、子どもにあえて苦言を言うことで親子関係がまずくなるのは避けたいものです。(うちは煙たがられています)

私が知り合いから紹介してもらい、参考にしてきたのは、森俊夫さんと黒沢幸子さんの『〈森・黒沢のワークショップで学ぶ〉解決志向ブリーフセラピー(ほんの森出版)』という書籍です。何かを解決しようとするとき、



- ①もしうまくいっているのなら、変えようとするな
- ②もし一度うまくいったのなら、またそれをせよ
- ③もしうまくいっていないのであれば、(何でもいから)違うことをせよ

と書かれていました。これは、佐賀星生学園の指導方針と同じものです。お子さんとの関係がうまくいっていないのであれば、行動や言葉かけを変えることで、関係性に変化を起こしてみることをお勧めします。



毎日、お子さんの姿を見て怒ってしまうのであれば、試しに一週間、怒らずに笑顔で家から送り出してみてはいかがでしょうか。最初は何も変化が起きずに、思い悩まれることがあるかもしれません。しかし、一度こじれた関係性は、一日や二日で変わることはありません。そんな時、お子さんが生まれた時や赤ちゃんだった時の写真や動画を見返してください。どのご家庭でも「生まれてきてくれただけでよかった。」という思いが蘇ってくると思います。その気持ちを思い出しながら、お子さんに接すると少しは関係性も変わると思います。

子どもはあっという間に大きくなり、いずれは親元を離れていきます。一緒に過ごす時間もそう長くはないかもしれません。私は高校卒業後、東京の大学に進学させてもらい、その後も親元を離れて生活をしていました。今、振り返ると親に甘え、苦勞をかけ、わがまま放題だったと実感しています。子育てをしてみて、あらためて親への感謝が沸き上がったことは言うまでもありません。いずれ我が子も同じ思いをするのかなと思いつつ、日々過ごしています。いかがでしょうか。少しでも気が楽になれば幸いです。

